

長野県上田市に本社を置くキューオーエル(宮島正子社長)は女性の健康管理を支援するシステムの開発に取り組む。なかでも注目を集めているのが基礎体温を測る体温計。眠ったまま測れる手軽さと体温の変動をグラフで分析できる点が売り物だ。「月経困難症」という女性特有の問題に着目し、長らく技術進歩がなかった基礎体温計の市場に新風を吹き込んでいる。

月経痛などによる休業や仕事量の低下で生じる経済損失は年間三千八百億円。宮島社長はよく、厚生労働省などがまとめた二〇〇〇年度の調査を引きながらこう強調する。「ひどい月経痛で日常業務さえできなくなる女性従業員は少なくない」。さらに診断や治療にかかる医療費用は五千五百億円に達するという。

そんな女性特有の問題を解決するためにキューオーエルが開発したのが、基礎体温を正確かつ簡単に測れる体温計「ランズナイト」だ。基礎代謝が低い時、つまり眠った状態の体温を測る

# キラリ個性派

## 女性向け基礎体温計

キューオーエル

《会社概要》

- ▽社 長 宮島正子氏
- ▽設 立 2002年10月
- ▽本 社 長野県上田市下之郷 813-12
- ▽売 上 高 約3000万円 (07年7月期)
- ▽従業員数 4人
- ▽事業内容 女性向け健康情報管理システムの開発、女性向け健康管理サイトの運営



ランズナイトを開発した宮島正子社長

個搭載。パジャマなどの衣服に挟んでおくだけで、十秒間隔で合計六時間、自動的に計測してくれる。これにより体温の変動から女性の周期的なリズムが

# 寝たまま手軽に計測

に口に入れて測るなど不便で、「働く女性にはあまり浸透していないのが実態」(宮島社長)という。これに対し、「ランズナイト」は眠ったまま測ることができるとの特長だ。卵形で手のひらに収まる大きさだが、温度センサーを二

(上田市)を起業した。と呼びかけており、予約状況がインターネットでは女性況は好調という。今後の課題は「売るためのノウハウ不足」と認識している。このため五月には大手体温器メーカーの森下仁丹(大阪市)と業務提携し、来年からはドラッグス

は女性の健康管理を促す仕組みづくりが必要と実感した。だが、「計測方法が不便な既存の基礎体温計では不十分」と考え、〇一年に自ら基礎体温計の開発に着手。〇二年にはインターネットからこの部門を分離し、女性向けの健康情報システム開発企業としてキューオーエルを立ち上げた。生体計測工学の研究者な「百年間にわたって技術進歩がない」(同)とされる基礎体温計市場。同社は今、技術刷新を武器に新たな需要を掘り起こそうとしている。

体温データの分析も簡単で、翌朝まで計測したデータはQRコードに圧縮し、画面に表示する。これを携帯電話で読み取るとデータがサーバーに自動で送り、記録する。同社が運営する女性向け健康管理サイトに情報サービス会社を辞めてソフトウェアの品質評価や産婦人科医などの医院やインターネットを通じて利用

(田島如生)



# 長野

長野 0266-1232-12011  
松本 0266-3136-13007

